

9月

# あつぎ・九条の会

現在会員

1642人

〒243-0206

厚木市下川入369-4  
TEL 046-246-0179

編集責任者

大友 三昭

E-Mail

ohtomo3m@  
yahoo.co.jp

◆ 10・5九条の会大集会―大軍拡反対！憲法改悪を止めよう

◆ 日時…10月5日(木) 19時(開場18時30分)

◆ 場所…「なかのZERO」大ホール(JR中野駅南口徒歩10分)

◆ 参加費…999円(学生・障がい者の方は500円)

◆ 主催…「九条の会」10・5大集会実行委員会

## 岸田政権の軍拡に反対し

### 憲法改悪を阻止する

#### 市民の総決起の秋を創ろう！

#### 改憲の企てが急速に進行

6月21日に閉会した第211通常国会では、「安保3文書」の実行を狙って大軍拡予算とともに軍需産業育成法・軍拡財源法など多くの悪法が成立しただけでなく、憲法審査会を中心に与党と、維新の会、国民民主党などによる改憲の企てが急速に進行しました。

岸田文雄首相は、国会閉会後の記者会見で、自らの自民党総裁としての「任期において憲法を改正する努力をする」と、来年9月までの改憲に強い意欲を示しました。

岸田首相は、政権延命のため今秋にも解散を狙っていますが、解散・

この秋から市民が総決起  
いま、私たちは、文字通り軍拡と改憲の戦争する国か、憲法の人権と民主主義が活かされる平和な国かの岐路に立っています。



厚木・愛川・清川で、今現在で確認されている看板の設置数は30枚です。風雨などによるパネルの劣化が見られ、設置のない空白域にも看板を立て、今こそ憲法九条の存在を広めようとの機運の高まりが出て、新たにパネル30枚を用意しました。

看板の新設は、設置場所の確保が一番の困難です。まず、会員さん、会員さんの知人・友人の方にご協力をお願いしたいと思っています。

### 看板 憲法9条は宝！ 設置と協力をお願い

\*設置スペース…1m×50cm程度  
パネルの設置作業は当会の担当者が行います(30分〜1時間程度)

\*パネルのサイズ…横91cm×縦35cm



公言する来年秋までの改憲を挫折に追い込むまで、この秋から市民が総決起することが必要です。

そのための、九条の会は、首都圏の会を中心に実行委員会を組織し、来る10月5日(木)の夜に中野ゼロホールで「九条の会大集会―大軍拡反対！憲法改悪を止めよう！」を開催することにしました。

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」と「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」にも協賛をお願いし、引き受けていただきました。

この集いをステップにして、11月3日の憲法公布記念日を挟む11月を「軍拡反対、岸田改憲阻止の総行動月間」とし、全国各地の九条の会の皆さんや改憲に反対する市民の皆さんが大軍拡と改憲に反対する多様な行動に立ち上がるよう訴えるものです。

#### 改憲は必ず阻止しよう

今、私たちの周りには困難があります。この間の国政選挙で、改憲勢力は衆参両院とも3分の2を超えています。野党共闘も困難にさしかかっています。しかし、振り返ってみましょう。小泉政権が改憲を提起したとき、衆参両院では改憲に好意的な勢力は3分の2を超えていました。

けれども、04年6月に9人の呼びかけにより「九条の会」の結成が呼びかけられ全国各地に九条の会が続々結成され改憲反対の声が沸き起こる中、世論は大きく変化し、改憲の企図は挫折に追い込まれました。

2017年に安倍首相が改憲を提起した時も衆参両院では改憲勢力が3分の2を超えていましたが、「市民と野党の共闘」の頑張りにより、憲法審査会でも立憲野党が頑張つて安倍改憲を挫折に追い込んだのでした。

改憲勢力もたくさんの方の矛盾を抱えています。私たちが立ち上がれば、改憲は必ず阻止することができます。全国の九条の会の皆さん、そして改憲に反対する市民の皆さんに、改めて訴えます。この秋、大軍拡に反対し憲法改悪を阻止するため、声を上げ、立ち上がりましょう。10月5日、大集会に集いましょう。

(8・23発行 九条の会ニュース第446号より・小見出しは当会が付す)

#### 10・5九条の会大集会 成功へのプレ集会開催

- 《 行 事 案 内 》
- ・大軍拡・大増税反対スタンディング  
9月19日(火) 13時～  
本厚木駅北口
  - ・10・5九条の会大集会  
10月5日(木) 19時～  
「なかのZERO」大ホール
  - ・あつぎ・九条の会サポーターの会  
10月7日(土) 14時～  
保健福祉センター 研修室
  - ・厚木市九条の会ネットワーク会議  
10月8日(日) 14時～  
保健福祉センター 作業室
  - ・9の日行動  
10月8日(日) 16時～  
本厚木駅北口

9月1日(金) 18時30分から文京区民センターで行われた集會に参加しました。この集會は10月5日に「なかのZERO」大ホールで開催される大集会に向けて、事前学習として開催されました。

司会の渡辺治さんの挨拶の後、高田健さんが「改憲の動きの現状と私たちの課題」、小沢隆一さんが「緊急事態条項改憲論の問題点」について講演しました。日程有りの岸田改憲の行き詰り、戦時を想定した緊急事態条項など、改憲の矛盾点が明らかにになりました。

新しい戦前の準備改憲をさせない為に、みなさんに10・5大集会への参加を呼びかけます。写真は講演する小沢さんです。(大友三昭)





「九条の会」発起人のお一人  
作家・澤地久枝さんからのメッセージ

五月二十八日の全体集会には、出席予定で体調をととのえていました。残念なことに会の三日前から腰の骨折のあとが悪化し、当日はベッドから離れることも出来ず、欠席しました。五月三十日、診察を受けそのまま入院となり、現在も入院生活をつづけています。

大江健三郎氏とは、氏の東大生時代からのおつきあいであり、氏のこの歳月におけるあり方を知る者の一人として、ぜひ話したいと考えていました。が、むなしくなりました。

いま、立つこと、歩くことが不自由な身となり、申し訳なくまた残念に思います。

全国の九条の会から、「九条の会」

公務員は日本国憲法を遵守する義務を負います

先の厚木市市議会議員選挙で当選された市議員は下記に示す憲法遵守の誓約書を提出されました。

憲法第九十九条には「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。」と明記されています。憲法は政治の土台であり全ての政治活動は憲法のルールの下に存在します。

議員の皆さんがこの誓いを忘れず日々活動されるのは当然ですが、同時に我々市民も議員の行動に日々関心を寄せ、この誓約が守られるよう関与し続けることが大事だと思います。(伊部康雄)

別記様式(第4条関係)

誓約書

私は、市民の厳粛な信託を受けた議員としての職責を深く自覚し、日本国憲法とそれに基づく各法令及び厚木市議会議員の政治倫理要綱を遵守いたします。

日々の活動にあたり、いやしくも市民の信頼を損なうような批判を受けたときは、自ら誠実にその事実と責任を明らかにすることをここに誓約いたします。

年月日

厚木市議会議員長様

(氏名)

㊟



事務局あて、澤地の講師依頼があり、その一つが屋久島でした。私の体力で行けるかと返事を書けずに行きませんでした。一緒に行こうと言われたのは、鳥越俊太郎氏でした。その結果、屋久島の会は実現、鹿児島でも会をしました。

毎月三日午後一時、国会正面に立っています。八年になりました。参会

は女性も男性もです。はじめは、「アベ政治を許さない」と金子兜太氏に書いていただきました。毎回百人くらいの参加があります。参加者からのメモに、「母に日本が戦争する国にならないよう、がんばるからね」と言っているとありました。九十八歳のお母さんだそうです。この国の政治は、問答無用で、軍事大国になろうという露骨で恥知らずの状況です。

「九条の会」を中心にサポートする若い人たちがふえて、意志的な講師になっていきます。私も回復するつもりです。

いっしょに力づくよく歩いて行きましょう。

(5月28日に開催された「大軍拡反対、憲法改悪を止めよう!九条の会・第8回全国交流集会」―大江健三郎さんの志を受けついで―の7月7日発行の報告集より転載)

(北川和麿)



ひばり

武力抑止は逆効果

陸軍の石原莞爾は1943年2月(終戦の2年半前)、朝日新聞記者に「朝日は戦争反対やらんか、このままでは東京は焼け野原になるぞ」と警告した。満州で戦争を始めた張

報告集を販売中です。問い合わせ先URLは <http://www.9-jo.jp/>

本人が無責任な話だが、海軍の山本五十六も開戦時に同じような認識で話をしている。これこそ軍事力が戦争抑止力にならない証拠であろう。陸海軍の最高幹部が「負ける」という戦争でも起きてしまった。相手武力が強大でも攻撃を仕掛ける。むしろ逆効果。

(伊部康雄)

Z世代と戦争

(「Nスペ」8・15日の放送を観て)

この番組では30人前後の若者が集まり右記のテーマで意見交換がされました。

「日本が戦争に巻き込まれたら」というトピックの時に、16歳の高校生は、「私は銃をもって国を守ります」と澁刺とした態度でこたえしました。勿論16歳という若さということもありですが、私はこの発言にいささかびつくりしました。

次に以下のような疑問が湧きました。彼女が日本国をどのような国として認識しているのか。

・銃を撃つという、撃つ側の心理

・その結果をどう考えているのか。

しかし、すかさず、東大先端研の小泉先生は「89式小銃(自衛隊使用)」を使えるのはこの話し合いに参加している元自衛官の黒澤さんしかできない。また、常時それを一般の人が使用できるように支えている制度は徴兵制である。

私は、「平和を守る」という立場から、この二つの状況認識に日本人として「皮肉」を感じました。

(水引 増)



大軍拡・大増税反対宣伝行動 8/19本厚木イオン前

川柳



妻田(安芸礼太)

不祥事は辞任・離党で藪の中五人衆「帯に短く褌」にも

旭町(紀)

機密費をふどころに入れ外遊し処理水で安全神話創り出す

愛川(康)

リメンバーお局様のバリ旅行違憲だよ結社の自由侵す党

下川入(昭)

全国に夢見る校長出るといい全世界対象になる事故処理水

下古沢(和)

図書ルール憲法読まぬ自議員連責任は取ると言っても支持率が